

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(城北小)学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長より、今年度の方針についてわかりやすい説明があり、目指す方向や今年の重点等、納得でき、共有することができた。また、協力体制もできたと思う。
- ・各委員が互いの疑問、意見を出し合い、学校側の説明も少しでも疑問点があればしっかりと補足してくださり、熟議出来たかと存じます。
- ・学校からの方針を理解することが精一杯で、学校運営に役立つような熟議は、難しい。各委員から出る多様な考え方が、基盤となって、子ども理解を深め、新たな方策を生むと思うので、各委員の声を大切にしていってほしい。
- ・なかなか方針通りにはいかない点も多々あると思いますが、委員同士の信頼関係を築きながら、学校が運営していきやすいように何が出来るか具体的に考えていく必要があると思う。
- ・少しずつ学校と地域・家庭で目標の共有が進んでいると感じるが、更に熟議を充実させる必要があると思う。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・会を重ねるたびに、各委員との人間関係が深まり、それぞれの立場での意見交換ができるようになった。また、地域学校協働活動のつながりを考えて積極的に協議することができた。
- ・城北サポーターも3年目を迎え、順調に登録者が増えて学習支援や環境支援への活動が盛んになってきた。これからも各委員と熟議を積み重ねながら前進していきたい。
- ・子供たちのためにと建設的な意見が多く、熟議の時間が不足気味である。
- ・学校からの話題提供が効果的で、CS活動の見通しと着実な歩みにつながっていると思う。課題を熟議し共有化するサイクルはできつつあると思う。
- ・CSとして本校も歩み始めていますが、まだまだ浸透しきっていないと言いつつ、広く周知するための方策を考えていかなくてはならないと思う。
- ・地域の横のつながりがもっと必要だと感じている。
- ・学校のニーズに応えられている部分とまだ足りない部分とがあると思われる。地域と子供の結びつきは増えたと感じるが、家庭と学校については家庭により偏りがある等、見えない部分がある。一つずつの活動を周知してもらおう(共有の)努力をしたい。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・サポーター登録者が増え、その活用も効果的で、CS活動は着実に充実・発展してきていると思う。更なる学校への関心や意識を高める工夫をしていきたい。
- ・環境美化活動等は、サポーターが主体的に継続的に、取り組める体制づくりを考えてもよいのではないかと。
- ・次は、〈協働〉について一歩進めたい。お互いの活動や方向を整理し、まず一つを共有化し、協働で取り組んでみる。
- ・来年度は、より学校や子供たちについて考えるにあたって視野広く議題にも向き合っていきたいとします。保護者としての視点から何が出来るのかを考え、具体的なお手伝いがあったらと思う。
- ・地域産業を活用した授業に関して、年々、地元の商店街が沈滞しており、後継者不足も相俟って閉店が多くなってきている現状です。2年生の町探検などは児童を受けただけの店が少なくなった結果、受入可能店への負担が増してしまった。次年度以降の代替え案などを担任の先生方と協議していく必要がある。